

令和5年度「南城市幼小連携事業」活動記録簿
玉城こども園公開保育及び合同研修会 令和5年7月28日(金)

| | | | |
|------------|---|------|--------------|
| 幼小連携アドバイザー | 伊集 恒子 | 実施場所 | 玉城こども園・玉城小学校 |
| 実施日時 | 公開保育 9時10分～9時50分 合同研修会 10時10分～12時 | | |
| 目的 | 保育園の公開保育を通して幼児期の発達や学びを理解し、「子どもの姿を中心に」保幼小中の先生方が語り合い切れ目のない教育を目指す。 | | |
| 対象者 | 玉城小学校・玉城中学校・玉城小学校区幼児教育施設の職員、その他 | | |
| 参加者 | 保育施設 18名 小中 8名、中堅研教諭 8名、行政 9名、琉大生 1名 計 44名 | | |

1 内容

〈公開保育〉玉城こども園 9:00～ 9:50 *保育参観終了後玉城小学校へ移動



〈合同研修会〉玉城小学校 10:00～12:00 司会：小学校教務

指導助言及び講話 宮城利佳子氏 琉球大学教育学部講師

講話「演題」幼児の主体性と遊びこむ姿をめざして～幼児期から児童期へと切れ目のない教育へ～



2 成果 (玉城こども園)

- ・ 7月現在は4月、5月より遊びこんで過ごす姿が見られた。

3 課題 (玉城こども園)

- ・ 保育の振り返りがあまりできてなかったなので、今後取り入れ保育に生かしていくようにする。
- ・ 子ども達が遊び込むための環境構成の工夫。

4 改善策 (玉城こども園)

- ・ 子どもの声やつぶやきを拾えるようにしていく。○振り返りの時間をつくっていけるようにする。

5 指導助言

- ・ 朝の集まりのもちかた (必要性について考える) ○子ども達の意見を制限していないか
- ・ 大人が作った環境になってないか ○保育参観をしたいと申し出る園がたくさん出てほしい

6 その他 *参加者からの学びや感想

- ・ 先回りしすぎない、保育者と一緒に試行錯誤する、「なんでだろう」と問いかけて考えさせることを大切にしたいと思った。
- ・ 0歳からの遊びについて学べて良かった。自園でも“遊びこむ”環境づくり、時間の使い方を考え直し、保育者同士話し合っことで子どもの遊びの探究が深められる保育をしていきたい。
- ・ 子どもを主体的に学ばせるには、まず環境の整備が大切だと感じた。中学校にも言えるなど感じた。自分で学びを選択できるよう授業改善につなげていきたい。
- ・ 居場所、信頼感、ドキュメンテーション。いろいろなキーワードを聞くことで中学校でも必要なことを考えるきっかけとなりました。